

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 0570909416 |
| 法人名 | 有限会社 くおん |
| 事業所名 | グループホームくおん |
| 所在地 | 鹿角市八幡平字堰の下108番地 (電 話) 0186-30-5570 |
| 評価機関名 | 財団法人秋田県長寿社会振興財団 |
| 所在地 | 秋田市御所野下堤5丁目1-1 |
| 訪問調査日 | 平成21年9月4日 |

【情報提供票より】 (21年 8月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和 <u>平成</u> 16年 3月 1日 |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人 |
| 職員数 | 16 人 常勤 16 人, 非常勤 人, 常勤換算 16人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 木造 造り |
| | 1 階建ての 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|-------|-------|
| 家賃(平均月額) | 39,000 円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷 金 | 有 (円) <u>無</u> | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 (円) <u>無</u> | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 150 円 | 昼食 | 250 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ | 50 円 |
| | または1日当たり | | 円 | |

(4) 利用者の概要 (8月 15日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 14 名 |
| 要介護1 | 名 | 要介護2 | 6名 | | |
| 要介護3 | 6名 | 要介護4 | 4名 | | |
| 要介護5 | 2名 | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 82 歳 | 最低 | 60 歳 | 最高 | 92 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 鹿角組合病院、おりと歯科医院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは天井も高く採光も十分であり、オープンで明るい空間が保たれている。またトイレの数が多く、各居室に隣接されており、利用者にとっては非常に機能的な構造となっている。職員は利用者に対して丁寧で温かく、相手のペースに合わせた介護を実践しており、「ゆとり、いたわり、おもいやり」の理念が十分に理解されている様子がうかがわれた。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 職員のストレス解消に関しては親睦会や交流会、他施設職員との交流の機会を設けている。また、ホーム運営に関する職員の参画については、職員会議の場で意見を聞き取るよう努力している。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 親睦会や食事会は、職員の日頃の考えを自由に話せる場にもなっており、ストレスをためない職場環境作りにつなげている。また食事会等を通じて管理者への信頼が高まっている様子がうかがわれた。ホーム運営に関しては、毎月の職員会議に十分な時間を確保して、職員がホーム運営に参画していると自覚できる体制作りを行なっている。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議には、行政、地域住民のほか、家族会からも参加が得られている。ホームから課題を提示して議論してもらうなど、会議の機能を十分に活用しながら、ホーム運営に反映させていこうと努力している。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族の面会が頻繁にあることから直接話をする機会を十分に活用して利用者の生活状況や金銭管理等の報告し、その場で家族から意見を聴取する体制が徹底されている。家族からの意見は定例会議で取り上げ、日々の介護に反映させるシステムが整っている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 日常的に地域とのかかわりが保たれており、非常に良好な関係が築かれている。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホーム開設に当たり代表者の「地元への恩返しがしたかった」という思いを理念に反映させ、常に同じ目線で向き合うことを実践するために「ゆとり、いたわり、おもいやり」の理念を掲げている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎月開催される定例会議や棟会議等において「ゆとり、いたわり、おもいやり」の理念を忘れないよう職員に周知している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の保育所や学校等の行事には積極的に参加し、地元の人々との交流が図られている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 毎年の外部評価結果で挙げられた課題を定例会議に取り上げ、改善に取り組んでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議の結果を全職員に報告し、そこでの意見をサービスに取り入れる努力をしている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進会議のみならず、担当者が直接行政に赴き、情報交換を密にしている。 | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族の面会時には必ず利用者の生活状況などを報告するよう努めている。また新聞を発行するなどの工夫が見られる。さらに家族会開催の機会を活用して事業所に関する状況報告等も行なっている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱を設置するとともに、家族会で出された意見を参考に事業運営に反映させている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 利用者への影響をふまえて職員の異動は極力行わないようにしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 全職員が年1回は外部研修に参加できるよう努めている。 | ○ | 職員の更なる資質向上を目指すため、研修の体系見直しや、研修計画を作成するなど計画的な職員育成を期待したい。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 合同行事等の機会を活用して、他のホーム職員との交流や意見交換の場を確保している | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している | 入居時、家族から本人の生活歴（あゆみ）を記載してもらい、それまでの生活状況や一日の流れを把握して徐々にホーム生活に馴染めるよう工夫している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は常に利用者とともに歩む意識を持って支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入浴やレクリエーションプログラムなども、その日の利用者の気分や意向を必ず確認し、本人本位に生活が送れるよう配慮している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 毎月開催されるスタッフ会議、ユニット会議、カンファレンスでは課題やケアのあり方について十分な協議が行なわれており、職員全員が介護計画を理解し実践できるよう努めている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎月開催されるカンファレンスで利用者のモニタリングを行い、必要に応じて適宜介護計画の見直しを行なっている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 面会に来た家族の送迎や受診の付き添いなど、要望に応じた柔軟な対応がされている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人の希望するかかりつけ医のみならず、薬剤師等との連携も図り、適切な医療を受けられるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期の対応に関しては、ホームの機能として取り組もうとする意識は高く、今後、早急に検討していく予定である。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員に対して言葉遣いには特に注意を払うよう指導しており、実際の場面においても丁寧でいたわりのある言葉かけがなされている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日々の過ごし方は、本人の意向を尊重し、常に本人に確認しながら行なわれている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者と職員が調理や盛り付けを一緒に行い、また食事中も和やかな雰囲気があふれている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している | バイタルチェック等健康状態を確認した上で、本人の意向を尊重し、本人の気分や意向に合わせて、決して無理強いすることのないように入浴を促している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の「あゆみ」を参考にして農作業など本人の楽しみを見つけて生活に張り合いを持たせている。家族からも「利用者の表情が穏やかになった」との報告もある。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候に配慮しながら近隣の散歩や市街地への買い物等を日常的に行なっている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている | ホーム内は施錠されておらず、オープンな雰囲気がある。 | ○ | 施錠しないオープンな雰囲気を維持するためには、一方で危機管理に対する認識も常に持ち合わせておく必要がある。マニュアルは整備されているので、再度、危機管理に対する認識を強化することを期待したい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害訓練は実施されており、関係機関との連携も図られている。 | ○ | 関係者のみならず、地域住民との協力体制も含めた訓練内容を期待する。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立作成後は栄養士からの指導を受けて、栄養の偏りがないよう工夫している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホームは天井も高く、採光が十分であり、非常に明るい空間が保たれている。また季節の花々を飾るなど配慮されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人のなじみの道具を居室に持ち込むことが出来ている。 | | |

※ は、重点項目。

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------|----------|-----|---------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|
|----------|----------|-----|---------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|